

「家族の時間づくり」プロジェクト（妙高市）

アンケート調査結果の概要【企業票】

「家族の時間づくり」プロジェクト実施概要

○新潟県妙高市の取り組み	
プロジェクト期間	妙高市立新井小学校、新井南小学校、新井中央小学校で5月2日(月)をお休みにして、4月29日(金祝)から5月5日(木祝)を7連休とした。
内容	・大人と子どもと一緒に休む「家族の時間」づくり ・大人の休暇取得 ・充実した家族の時間をすごすための取り組み、他

1. 調査の概要

○調査方法

対象事業所へ郵送によりアンケート調査票を配布・回収

○調査対象

妙高市内、および近隣の上越市の500事業所

○調査期間

2011年6月22日(水)～7月8日(金)

○有効回答票数（配布数500事業所）

199票（回収率39.8%）

○回答事業所の属性

(1) 事業所の所在地

妙高市 新井地域	妙高市 妙高高原地域	妙高市 妙高地域	その他	無回答
126	22	10	37	4

(2) 本店／支店区別

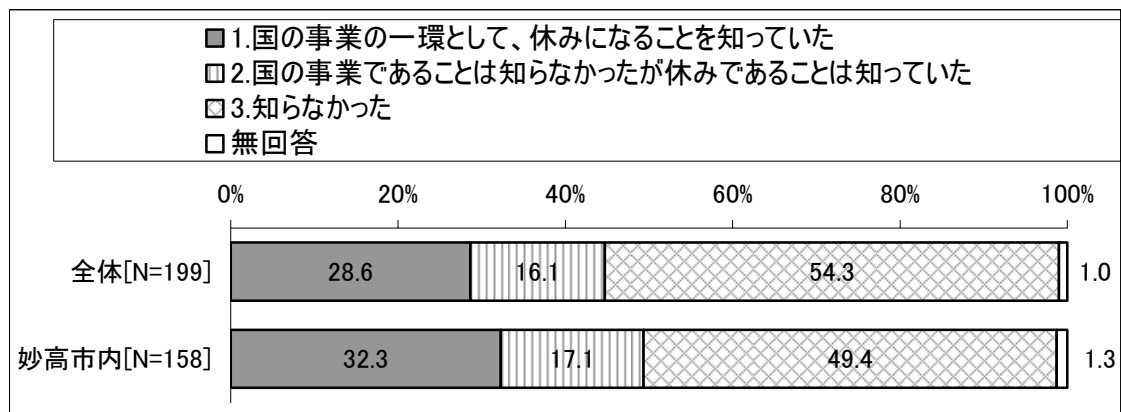
単独事業所	本社・本店	支社・支店	その他	無回答
109	53	19	5	13

2. 調査結果

問1 貴事業所では、妙高市において、「家族の時間づくりプロジェクト(休暇取得の分散化に関する導入促進事業)」として、5月2日(月)に、学校等がお休みになることをご存知でしたか。(1つだけ○印)

「家族の時間づくりプロジェクト」として学校の休日の振り替えが実施されていることを知っていた事業所は、「1. 国の事業の一環として、休みになることを知っていた」(28.6%)と「2. 国の事業であることは知らなかったが休みであることは知っていた」(16.1%)を合わせて44.7%(89票)であった。また、妙高市内の158事業所についてのみに限ると、32.3%(51票)の事業所が「家族の時間づくりプロジェクト」として学校の休日の振り替えが実施されていることを知っていた。

【図表1】本プロジェクトの認知(回答事業所数199票)(単数回答)

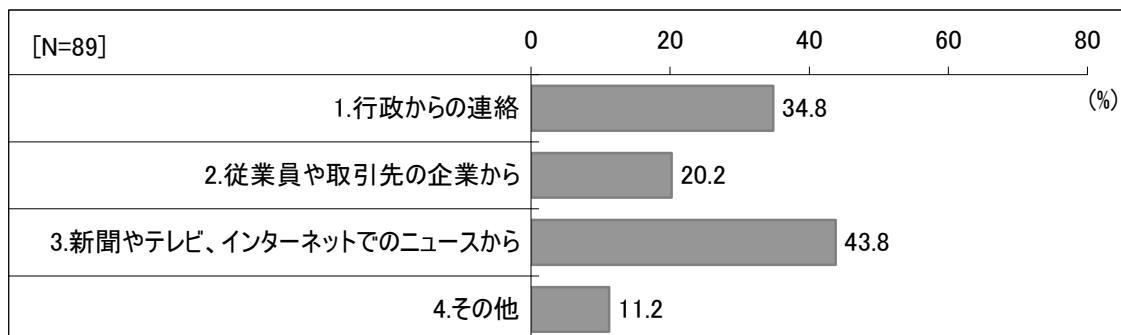


※図表内のNは設問への回答事業所数である

問2 問1で、「1」または「2」(休みであることを知っていた)とお答えいただいた方にお聞きします。どのようにお知りになりましたか。(該当する番号すべてに○印)

「3. 新聞やテレビ、インターネットでのニュースから」(43.8%、39票)が最も多く、次いで「1. 行政からの連絡」(34.8%、31票)であった。

【図表2】本プロジェクトを知った経緯(回答事業所数89票)(複数回答)

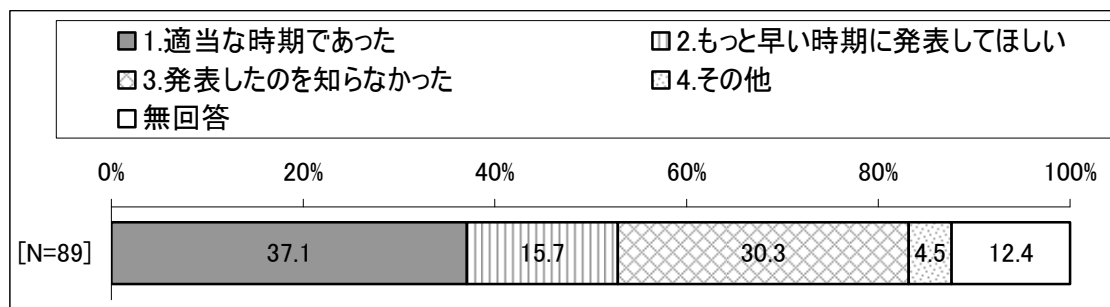


※図表内のNは設問への回答事業所数である

問3 問1で、「1」または「2」（休みであることを知っていた）とお答えいただいた方にお聞きします。妙高市が、平成23年度も引き続き家族の時間づくりプロジェクト（休暇取得の分散化に関する導入促進事業）に取り組むことを、ご案内をいたしました。社内で普及啓発等をして頂くのに、発表時期はいかがでしたか。（1つだけ○印）

「1. 適当な時期であった」と回答した事業所が 37.1%（33 票）で最も多かったが、「3. 発表したのを知らなかった」事業所が 30.3%（27 票）であった。

【図表3】プロジェクトの発表時期について（回答者数 89 票）（単数回答）

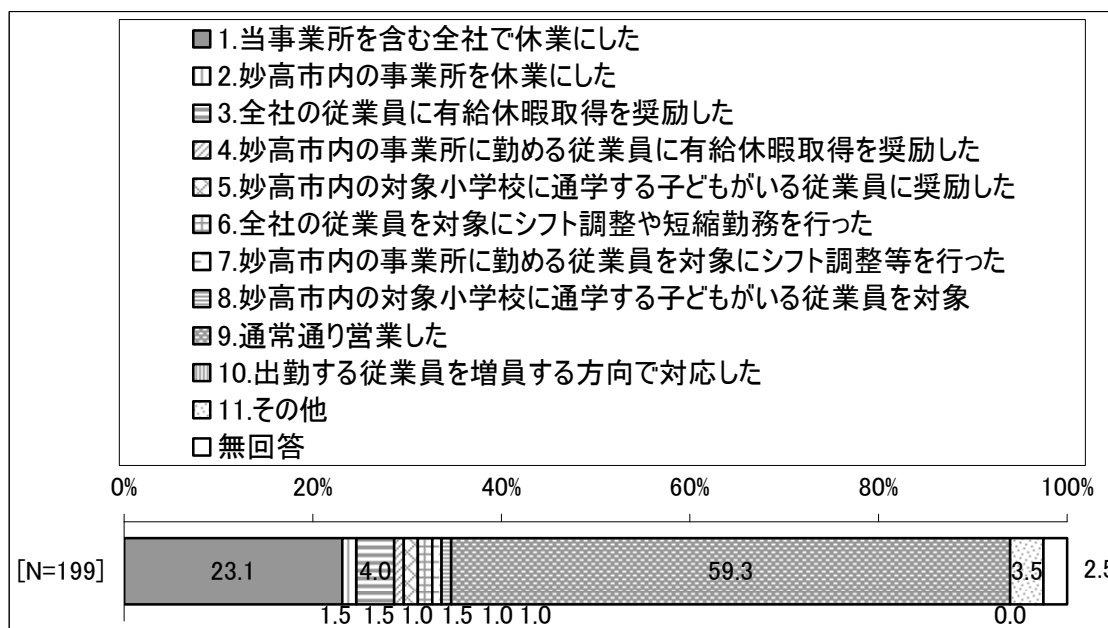


※図表内の N は設問への回答事業所数である

問4 貴事業所では、5月2日はどのような対応をされましたか。（1つだけ○印）

「1. 当事業所を含む全社で休業にした」（23.1%）と「2. 妙高市内の事業所を休業にした」（1.5%）を合わせて「休業にした」事業所が 24.6%（49 票）、「9. 通常どおり営業した」事業所は 59.3%（118 票）であった。

【図表4】5月2日の対応について（回答事業所数 199 票）（単数回答）

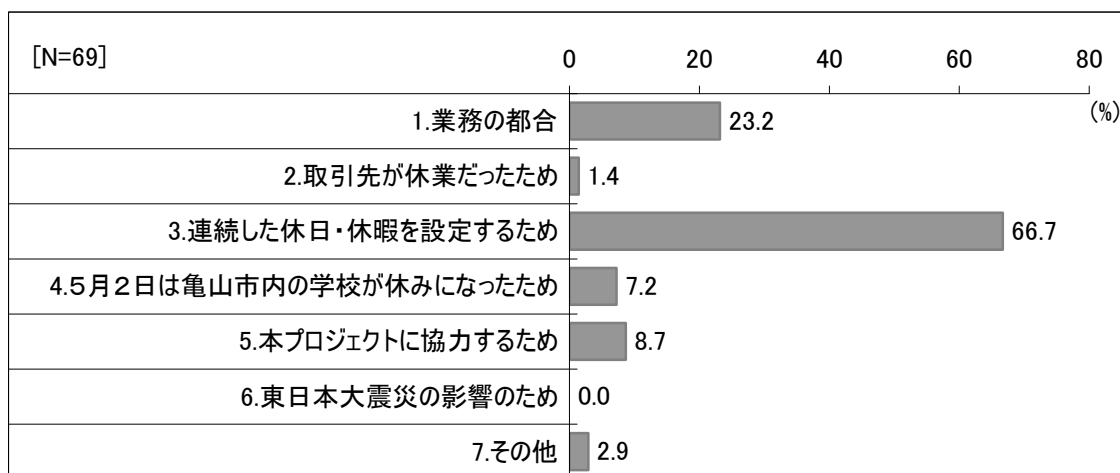


※図表内の N は設問への回答事業所数である

問5 問4で「1.」～「8.」と回答された方にお伺いします。そのように対応した理由は、次のうちどれでしょうか。（該当する番号すべてに○印）

「3. 連続した休日・休暇を設定するため」（66.7%、46票）が最も多かった。

【図表5】 対応した理由（回答事業所数 69票）（複数回答）



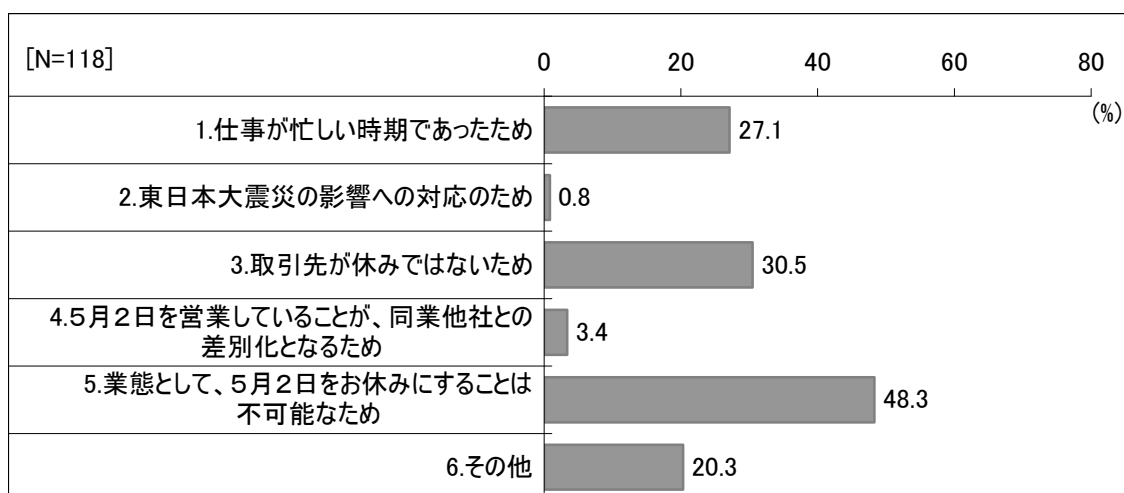
※図表内のNは設問への回答事業所数である

問6 問4で、「9. 通常通り営業した」「10. 出勤する従業員を増員する方向で対応した」と回答された方にお伺いします。そのように対応した理由は、次のうちどれでしょうか。（該当する番号すべてに○印）

「5. 業態として、5月2日をお休みにすることは不可能なため」（48.3%、57票）が最も多かった。

また、その他の意見からは「対象となる従業員がいなかったため」、「年間休日カレンダーで出勤日と決めていた為」という意見が得られた。

【図表6】 通常通り営業した理由（回答事業所数 118票）（複数回答）

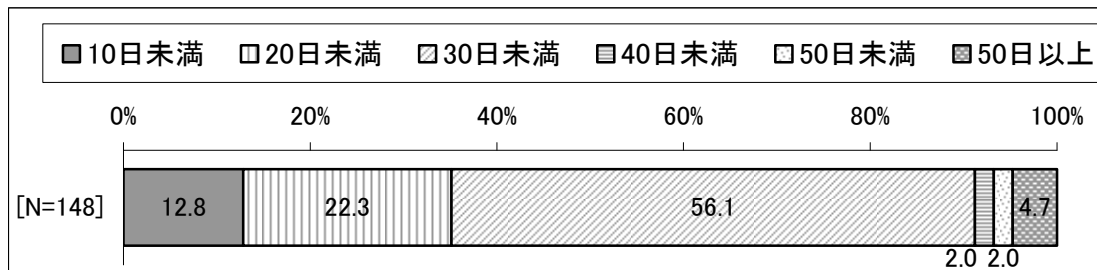


※図表内のNは設問への回答事業所数である

問7 貴事業所の年次有給休暇の現状について、お教え下さい。(概算の数字で結構です)

(1) 年次有給休暇付与日数

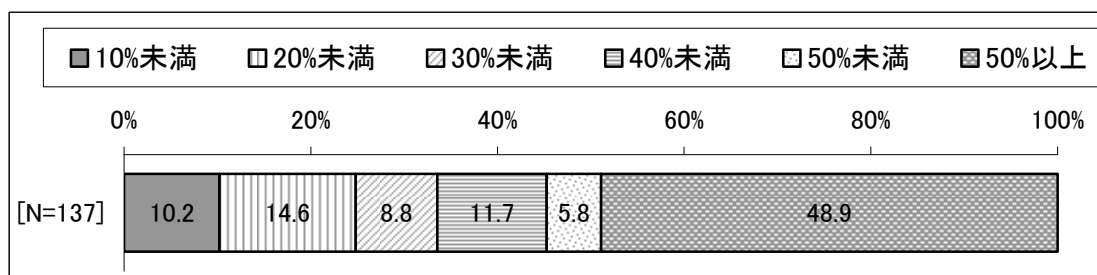
【図表7】年次有給休暇日数 (回答事業所数 148 票) (単数回答)



※図表内の N は設問への回答事業所数である

(2) 年次有給休暇取得率

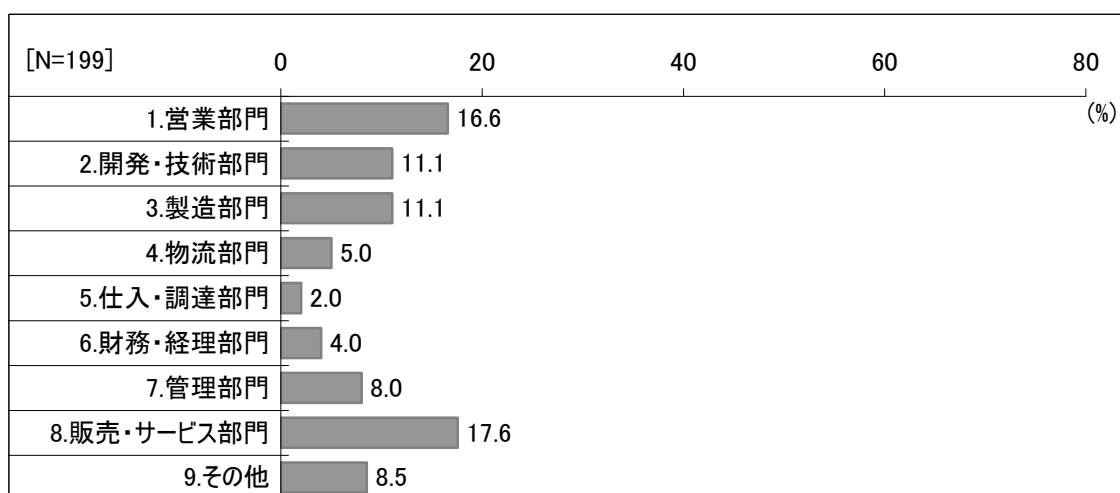
【図表8】年次有給休暇取得率 (回答事業所数 137 票) (単数回答)



※図表内の N は設問への回答事業所数である

(3) 有給休暇がとりづらい職種 (該当する番号すべてに○印)

【図表9】有給休暇がとりづらい職種 (回答事業所数 199 票) (単数回答)

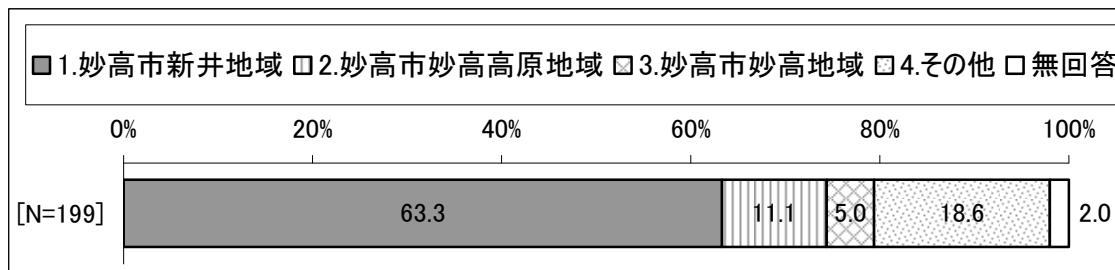


※図表内の N は設問への回答事業所数である

問9 貴事業所についてお教えてください。(各項目について、該当する番号1つに○印)

①所在地

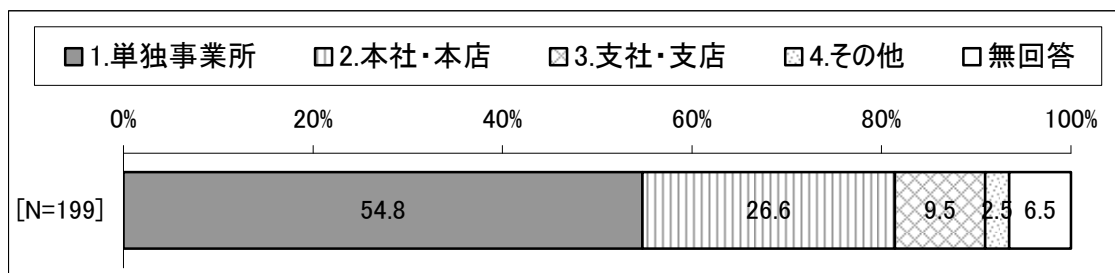
【図表10】所在地(回答事業所数199票)(単数回答)



※図表内のNは設問への回答事業所数である

②本支店区別

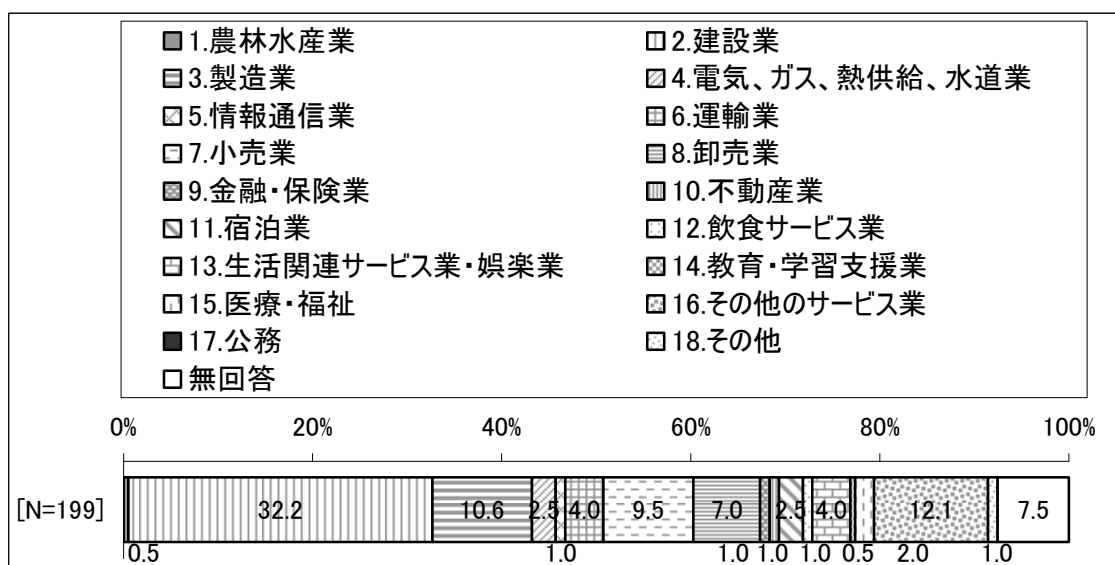
【図表11】本支店区別(回答事業所数199票)(単数回答)



※図表内のNは設問への回答事業所数である

③業種

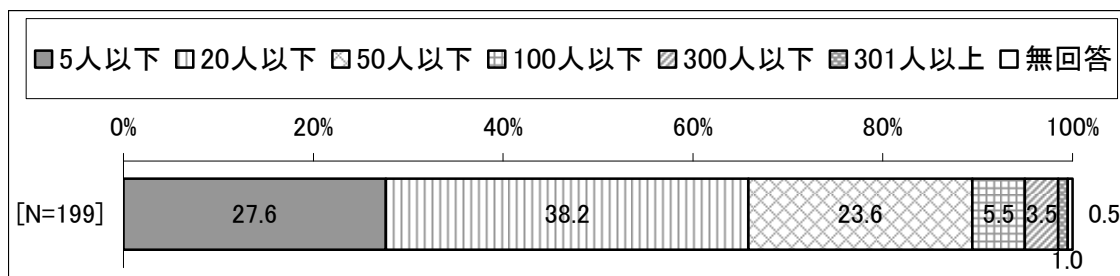
【図表12】業種(回答事業所数199票)(単数回答)



※図表内のNは設問への回答事業所数である

④貴事業所の従業員数

【図表 1 3】従業員数（回答事業所数 199 票）（単数回答）



※図表内の N は設問への回答事業所数である

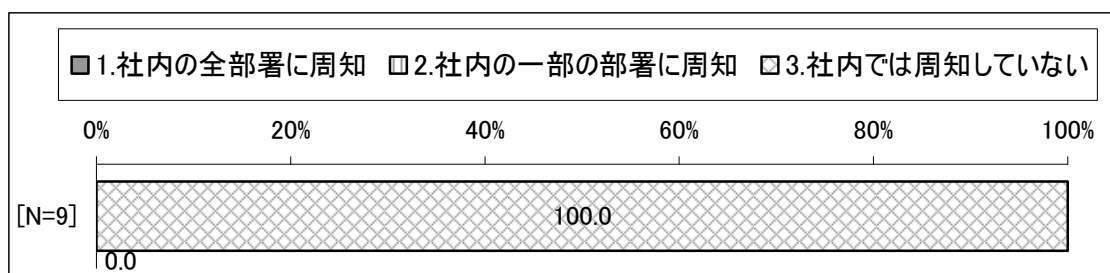
[以下の質問は、貴事業所の従業員数が 100 人以上の場合に、ご回答ください]

問 10 このような事業（家族の時間づくりプロジェクト）の実施について企業内の周知活動の実施の有無、社員への周知状況につきまして、お教えてください。

(1) 企業内の周知活動の実施（最も近い選択肢 1 つに○印）

「3. 社内では周知していない」事業所が 100%（9 票）であった。

【図表 1 4】企業内の周知活動の実施（回答事業所数 9 票）（単数回答）

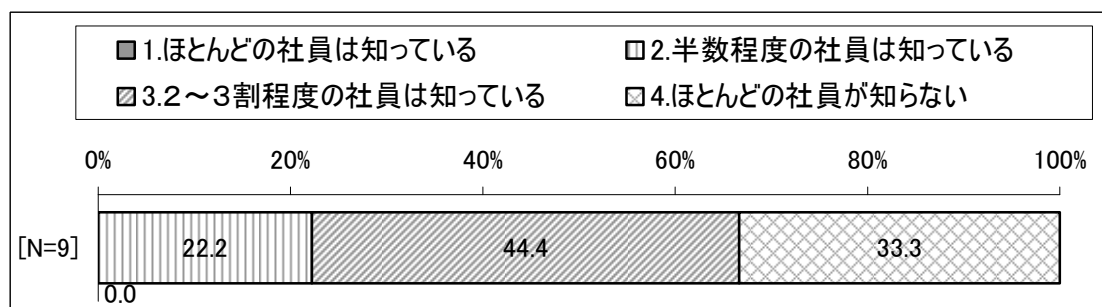


※図表内の N は設問への回答事業所数である

(2) 社員への周知状況（最も近い選択肢 1 つに○印）

「3. 2～3割程度の社員は知っている」事業所が 44.4%（4 票）と最も多く、「知っている」社員がいる事業所は 66.7%で、「4. ほとんどの社員が知らない」事業所は 33.3%（3 票）であった。

【図表 1 5】社員への周知状況（回答事業所数 9 票）（単数回答）

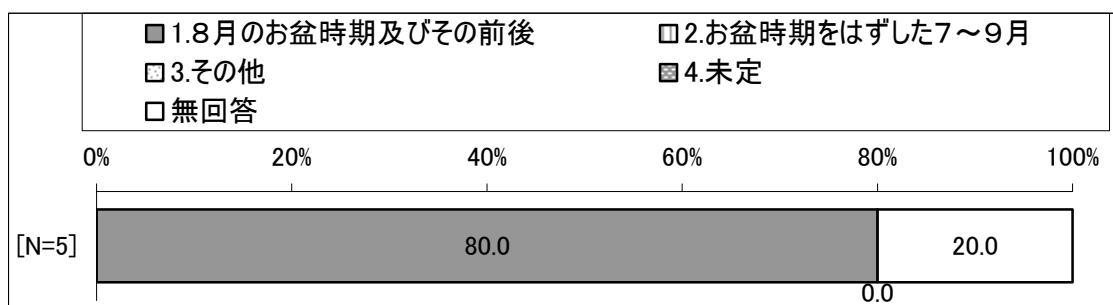


※図表内の N は設問への回答事業所数である

(2) (1)で1.～2.とお答えいただいた方にお聞きします。時期をお教えてください。(1つだけ○印)

夏季休業を予定している事業所のほとんどが「1. 8月のお盆時期及びその前後」80.0% (4票)であった。

【図表18】夏季休業の時期 (回答事業所数5票) (単数回答)

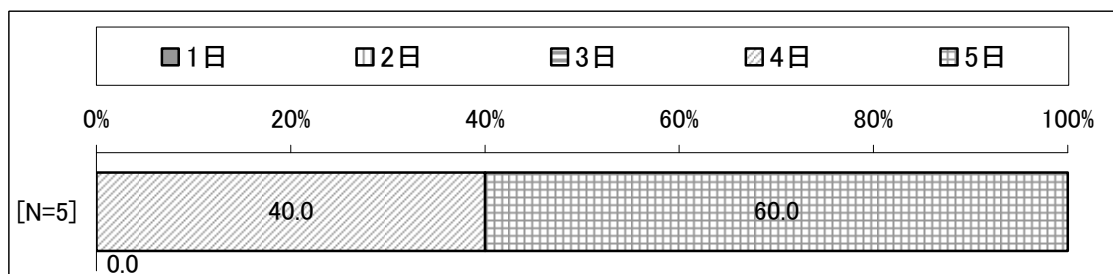


※図表内のNは設問への回答事業所数である

(3) (1)で1.～3.とお答えいただいた方にお聞きします。休業日及び休日を含めて、お休みは連続何日になるかお教えてください。

夏季連続休暇日数が「5日」の事業所が60.0% (3票)で最も多く、「4日」の事業所は40.0% (2票)であった。

【図表19】連続休日日数 (回答事業所数5票) (単数回答)



※図表内のNは設問への回答事業所数である